

インフルエンザ 流行警報 継続！！

和歌山市感染症発生動向調査において、平成30年第4週（1/22～28）のインフルエンザ定点あたり患者数が先週（67.13）よりさらに増加し**70.53**となりました。

ウイルスサーベイランスでは、A型については11月上旬（第44週）から12月中旬（第50週）までは、A/H1のみ検出されていましたが、年末（第51週）からはA/H3も検出されはじめ、現在増加傾向にあります。B型については、12月上旬（第49週）に検出されはじめ、検出株の全てでB（山形系統）が分離されています。このように、A/H1・A/H3・Bの3種類の株が同時に流行している状況です。

また、市内医療機関においてA/H3及びB（山形系統）の集団発生が報告されています。学校等の学級閉鎖も引き続き多数報告されており、今後もサーベイランス動向にご留意の上、院内感染対策の強化・継続をお願いいたします。

■今シーズンの状況

		インフルサーベイ		ウイルスサーベイ			学校サーベイ	入院サーベイ
		報告数	定点当り	A/H1	A/H3	B		
52週	12/25～31	152	10.13	3	3	1	/	3
1週	1/1～7	128	8.53	1	2	2		5
2週	1/8～14	380	25.33	6	8	2	0	8
3週	1/15～21	1007	67.13	3	7	10	74	6
4週	1/22～28	1058	70.53	1	4	6	82	13

ウイルスサーベイ第4週は2/1現在の速報値

<参考>和歌山市夜間・休日応急診療センターにおけるインフルエンザ患者型別状況

